

## 2022 年度実施概要

学校名

姫路市立家島中学校

採択活動名

ふるさとの海をより深く知り、伝統と環境を守ろう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 幼小中高地域合同避難訓練	全学年	特別・総合
2. セールトレーニング	1・3年	学校行事
3. 家島船方太鼓	1年	総合・音楽
4. 家島に感謝する日（海浜清掃）	全学年	総合・特活
5. 地引網体験	人学年	特活・総合・家庭
6. インド大使館職員との国際交流会	2年	総合

取り組みの概要



幼小中高地域合同避難訓練では、まず中学校にて地震と津波を想定した避難訓練を行ったのち、家島高等学校に移動し、自衛隊指導のもと高校生とともに砂場を利用した土のう作成訓練や毛布と棒切れを使った傷病者の搬送訓練、簡易ベッドや簡易テントの組み立て体験を行った。最後に、高校生から防災への備え等について、防災ジュニアリーダー学習会で学んできた阪神・淡路大震災からの教訓や避難所運営のポイント等について説明を受けた。



セールトレーニングでは、姫路ヨット協会の指導の下、実際にヨットについて乗船しての操船の体験を行った。そこで、ヨットの構造や帆走の原理、家島とヨットの関係について学んだ。また、姫路海上保安部により「海の安全」について講習を受け、実際の生活にも関係する海辺での安全確保のための知識を得た。



家島船方太鼓は、江戸時代、香川の漁師が家島を訪れた際に太鼓をたたいて歓迎されたことに感激し、それを地元を持ち帰り受け継がれてきた「松原太鼓」から基礎基本リズムを習い、再び家島に「家島船方太鼓」として復活させたものである。太鼓の技能だけではなく、その背景を学び、家島の伝統文化を守っていこうとする関心・意欲・態度の育成を目指し毎1時間総合的な学習の時間において、音楽科の教科担任指導の下、取り組んだ。



家島に感謝する日は、学校・保護者・地域が協力し、年2回清掃を行う取り組みである。漂着ゴミを回収し分別することで、ゴミの特徴を知り海洋の環境問題が身近なふるさとの海にも影響していることに気づかせることができた。また、地域の一員としての自覚を高めることができた。



地引網体験では、海洋地域学習として、男鹿島中村荘職員指導の下、男鹿島について学習、地引網・調理体験を行った。家島諸島の1つ男鹿島は、山が切り崩され採石場として栄えた島のため、漁業は発展していない。そのため、比較的自然が豊かであるため、播磨灘の豊かな海について体験学習するのに適している。男鹿島の名前の由来や地形、生態系について講習を受け、実際に地引網体験を行った。その後、獲れた魚を捌き調理した。



インド大使館職員との国際交流会では、2年生と在インド米大使館職員によるオンライン学習会を行った。生徒1人1人が、上記の学習や体験の様子、学んだこと、今後の課題、地元の紹介等を中心に、海外の方と英語でコミュニケーションを行ったことで、海洋学習だけではなく、英語によるコミュニケーション、わかりやすい伝え方、情報のまとめ等について学びを深めることができた。